

ルームチューニング  
アクセサリーあれこれ。



右: Mu-flu ¥18,900(ペア/税込)

左: ミュージッククッション ¥3,150(1個/税込)

**Mu-flu** ケーブルインシュレーターとして、またルームチューニング材として、幾通りもの使用方法で、ご自宅の音質をコントロール出来る万能アイテムです。スエード面で音を吸収し、表革の面で反射するというシンプルな作り。配置する方向で吸収・拡散を選べます。不要なレゾナンスを取りのぞきながら、サウンドステージを広げたり、中域を厚くしたり、音色を変えることなく、音場を自由自在に操ることが出来ます。

ミュージッククッション

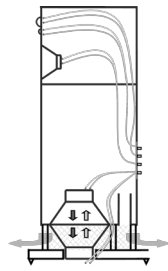
新たに加わったアイテム。スエード面(吸音)と表革の面(反射)のリバーシブルで、置く位置によって使い分けができます。

LINN DS あれこれ

- ・DS 1STステップセミナー、ほぼ毎日開催中。
- ・DSについての情報満載「DSあれこれ」当店ホームページに掲載中!
- ・本ページ紹介のLINN MAJIK ISOBARIKやオリジナル商品に関する詳しい内容は当店ホームページ「SOUNDCREATE TIMES」にてご覧ください。

▼ ISOBARIK 方式とは・・・

スピーカーシステムでは最も難しいとされる低音域再生において、エンクロージャーの実際の容積よりも遙かに大きな容積にユニットを取り付けたのと同様の、再生を実現するために複数のウーファーユニットを巧妙に使いこなす手法です。大きなエンクロージャーを必要とせず、深々とした低域再生を実現する、リン独自の技術が「アインバリック方式」です。



MAJIK ISOBARIK (再低域周波数28Hzを実現!)

連結されたウーファーユニットが床面に対して垂直方向に振動し、直接ダウンファイアされるウーファーの背圧と、エンクロージャー内の空気振動が適切に設計されたバスレフ方式から出力される低域成分が絶妙にブレンドされ360度全方向に音波として放射されています。



初代 ISOBARIK

床面と水平方向、すなわち直線的な低域再生。フロントバッフルに取り付けたウーファーユニットの直後にできる限り空気室容積を小さくするように工夫して、同一ユニットが配置され同相駆動することで、外側から見えるユニットが倍以上の容積の密閉エンクロージャーに取り付けられたのと同様の低域再生能力を発揮するように設計されていました。

▼ LINN のパワーアンプを知っていますか?

LINNのアンプのラインナップの多さをご存知ですか?

MAJIK(100W)シリーズ、

AKURATE(200W)シリーズ

の2ラインがあり、なんと1つの

筐体の中に最大6ch分のアンプが

搭載されているものもあります。

3ウェイ3スピーカーのものをマル

チで鳴らそうとする時、通常の

ステレオアンプの場合3台必要になり

ますが、MAJIK6100を1台導入することで、機

器や配線を増やさず、コンパクトに設置することが出来、音楽的に非常にバランスの

よい上質な音を得ることが出来るのです。LINNのスピーカーは、全てマルチのみなら

ずAKTIV化(※)も可能。数多いラインナップを組み合わせると、どのようにでも対応で

きるLINNのアンプ。マルチチャンネルにホームシアターにと幅広くご利用ください!

※アンプにモジュールを追加することで、スピーカー内部のネットワークを通さず、アンプ部分で信号の分配を行うという方式。これによりスピーカーへの負荷が減り、よりビュアな信号を送ることが出来るため、音離れよく、粒立ち良く、音楽に実在感が加わるのです。



NEWS 現在LINNのアンプが大変お買い得に手に入れられる「+2chアップグレードキャンペーン」開催中! 詳しくはホームページにて。

SOUND CREATE 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-10-6 第一銀座ビル 7F  
Tel.0120-62-8166 http://www.soundcreate.co.jp/

SOUND CREATE Legato 〒104-0061 中央区銀座 2-4-17  
Tel.03-5524-5828 http://www.soundcreate.co.jp/legato/

営業時間: 12:00~19:00 定休日: 毎週火曜日/第2、第3曜日 (祝日の場合第1月曜日に振替)

【取り扱いブランド】

LINN/PIEGA/B&W/ELAC/Davone/JBL/Raidoh Acoustics/Sonus faber/Mark&Daniel/Anthony Gallo/HARBETH/OCTAVE/NuForce/TRIGON/N-mode/QUADRASPIRE...etc (ヴィンテージ各種)

# Sound Create Times

2011.August

現代に蘇った

LINN MAJIK  
ISOBARIK

1972年、「音の良いターニングブル」LP12とともにLINNという会社が誕生しました。その1年後に発売された初代スピーカーこそが、創業者アイバー・ティエフェンブルンの独創的な設計思想により生まれた「アインバリック」でした。

このスピーカーに採用された「アインバリック方式」は特許を取得。その20年後特許が切れると、ソニー、パイオニア(カロッツェリア)、エグレストンワークスのアンドラ、ウィルソンベンネッシュのビショッブなど複数のブランドからこの方式を使用したスピーカーがリリースされました。

リンではサラ、ケルティック、スーパーサプウーファーAV5150などにアインバリック方式を見る事が出来ます。

今でも初代アインバリックを愛する方は多く、あるお客様はアメリカでたまたま耳にしたこのスピーカーに衝撃を受け、それをどうして

も譲ってもらい日本へ持ち帰られたとか。その後リンからリリースされたアンパヤノースコンポーネントで、アップグレードを繰り返しながら、現在はクライマックスシリーズで鳴らすアインバリックを楽しまれています。

お客様のお宅で聴かせて頂いた初代アインバリックは現代のリンのスピーカーとは少し趣が異なり、自然な暖かさや質感を感じるヴァイオリンの響きは、数年前のことですが今でも忘れることの出来ない音色でした。

そして40年に渡るリンのスピーカー製作のノウハウと融合して作られた、新生「マジックアインバリック」。

蘇った背景として設計者フィリップ・バット氏はこう語ります。「マジックシリーズのフロア型の低域再生の改善を試みていたが、当初は従来の方法で20cmウーファー1基をうまく活用することでの設計試作を繰り返していた。そして、今こそリンの歴史的な技術であるアインバリック方式に立ち返れば、素晴らしい結果が得られるに違いない、と再創造するに考えが至り、生まれ変わらせることになった。」

新しく誕生したマジックアインバリックの、深々と沈み込んで包み込まれるようなサウンドステージと、音楽性に富んだボーカルの声やクラシックの低域部分の深さに、どこか安心感を覚え身を委ねていると、今や総合オーディオメーカー

となったリンの物造りに対する一貫した想いと歴史を感じます。そして私達が今思うのは、LP12の再生能力を証明するために発売されたスピーカーが初代アインバリックであり、それから40年の時を経て、DSが現在のオーディオ再生に置いて確固たる地位を築きあげているこの時に、その再生能力をリンのスピーカーで再度証明しようと蘇ったのが、現代アインバリックなのではないかと。

初代アインバリックを  
ご愛用のお客様のお話  
川崎市M様

リンの初代スピーカーアインバリックは、聴けば聴くほど誇張がなく、あくまでナチュラル。ローエントンまで無理なく伸びているところが気に入っています。

元々メカニカルエンジニアであった低音再生設計が本当に良かったアイバーさんらしい理にかなった低音再生設計が本当によく機能し、強力なパワーでないアンプでも軽く豊かに鳴るため、LP12で聴くお気に入りのレコードが生き生きと楽しめます。

キャビネット上端に入られたLP12とおそろいのスリットもとても品よくアクセントとなつて

リンの初代スピーカーアインバリックは、聴けば聴くほど誇張がなく、あくまでナチュラル。ローエントンまで無理なく伸びているところが気に入っています。

元々メカニカルエンジニアであった低音再生設計が本当に良かったアイバーさんらしい理にかなった低音再生設計が本当によく機能し、強力なパワーでないアンプでも軽く豊かに鳴るため、LP12で聴くお気に入りのレコードが生き生きと楽しめます。

いてフアンチャーとしての出来も一流だと思います。

先日お店で聴いた新しいマジックアインバリックには驚きでした!

アインバリックらしい低音のナチュラルさはそのままに、想像を超えた低域部の厚みが音楽をしっかりと支えていました。どこまでも伸びるような中高域の抜けのよさは抜群で、どんな音楽もとにかく楽しく、自然と笑みがこぼれます。

音楽の温かさや神聖な透明感が音場いっぱい体に包み込み「これが音楽なんだ!」と思わず叫んでしまいうでした。

アイバーさんの音楽に対する思いがしっかりと受け継がれ、こんなに大きなブランドになったのか、と改めて驚いた次第でした。

リンの初代スピーカーアインバリックは、聴けば聴くほど誇張がなく、あくまでナチュラル。ローエントンまで無理なく伸びているところが気に入っています。

元々メカニカルエンジニアであった低音再生設計が本当に良かったアイバーさんらしい理にかなった低音再生設計が本当によく機能し、強力なパワーでないアンプでも軽く豊かに鳴るため、LP12で聴くお気に入りのレコードが生き生きと楽しめます。



←MAJIK ISOBARIKの底面に20cmウーファーが向かい合わせに取り付けられている。印字されているのはマグネット部。

LINN MAJIK ISOBARIK→  
¥630,000(税込/ペア)  
4ウェイ5スピーカー  
もちろんAKTIV化も可能!!